

◆シリーズ◆ 菊池一族の遺産

問い合わせ先 菊池族プロモーション室 ☎0968(25)7267

「菊池一族の街」①

菊池一族の信仰

菊池一族ゆかりの神社仏閣は、菊池川流域を中心に100カ所以上存在していますが、今回はその中でも、領地支配と信仰の関係性における大きなターニングポイントになった時期のものについて紹介します。

聖護寺

信仰が一族に大きな影響を与えた例としては、13代武重が土

武重の弟たちが聖護寺の教えを精神的支柱にしていた様子が記録に残っています。

正観寺と菊池五山

一族と聖護寺の関係を一変させたのは、15代武光でした。幼少の頃、大きな恩を受けた博多の大方元愷和尚を菊池に呼び寄せ、臨済宗の熊耳山正観寺を開き、菊池の仏教信仰の中心は正観寺に移りました。武光は更に、禅宗の「五山制度」を菊池に取り入れ、領主としての権威を示しました。これは聖護寺の教えの下に一族の繁栄があるとしていた武重の時代とは、考え方が大きく異なるものです。このため大智禪師は武光の時代に菊池を去り、玉名の広福寺に移りました。

◆絵画連作◆ 幻の都 城下町 菊池

絵・文／橋本以蔵

第一章 武光公の築いた絢爛たる都



其の12 菊池川の船運

菊池川流域は、菊池一族とその関係者が統治して治安を安定させていました。そのため、大型船が菊池川を遡上して菊池へ物資を運び入れるようなことが持続的に可能だったのでしょうか。当時は水量も現在とは比べ物にならないほど多く、菊池川を多くの商船が行き交ったに違いありません。その経済力は、後に明の使者が大宰府の懐良親王を日本国王と間違えたほどでした。

なく、地域住民の教化も行う文化の伝達者という側面もあり、菊池の文教を担う存在となりました。



熊耳山正観寺

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

切り絵展「中山博とそのグループ」

切り絵の白黒とカラー作品を約50点展示します。新人を含めて7人の展示です。 ※状況により休館の場合あり
期間 6月2日(火)～28日(日)

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 (月)(祝日の場合は翌日)

菊池観光協会

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

菊池市ふるさと創生市民広場の利用を制限します

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、市民広場内の遊具や大屋根広場のテーブル・椅子の貸出利用を休止します。ご理解とご協力をお願いします。

開館時間 午前9時～午後6時
休館日 第4(火)(点検などで臨時的に休館する場合あり)

◆シリーズ◆ 交流の絆 ③

申し込み・問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

姉妹都市・宮崎県西米良村

1506(文亀元)年、菊池一族の第22代・能運が、内乱による一族根絶の危機を憂い、一子を米良に落ち延びさせたことが米良菊池氏の由来といわれています。そのような歴史的背景を元に、1983(昭和58)年、旧菊池市と姉妹都市を締結。合併後の2006(平成18)年には、改めて姉妹都市の締結を調印しました。

市民間での交流を目的に、毎年、本市から交流団を派遣しています。同村の歴史や文化を学んだり、盛んに行われている神楽や民話を体験したりしています。菊池市とのつながりについても学んでいます。



昨年は、西米良村の特産品ほおずきを使ったアート体験がありました